別記第２号様式（実施要領第７関係）

　　　ＧＦＰ大規模輸出産地生産基盤強化プロジェクト事業計画書

１　事業実施主体の概要

|  |
| --- |
|  名称：  |
|  主たる事務所の所在地： |
|  代表者役職・氏名： |
|  電話番号：  |
|  e-mail： |
|  ホームページURL： |
|  担当者名：  |
|  設立目的： |
|  設立年月日及び事業年度： |
|  主たる業務の内容： |
|  輸出事業計画認定年月日（又は認定予定年月日）： |
| 過去の類似・関連事業の実績、実施内容等 |
|  事業担当者の業績等 事業統括者　〇〇　太郎（所属・役職） プロフィール 〇〇担当　　〇〇　花子（所属・役職） プロフィール |
|  今年度，既に採択が決定及び実施している農林水産省の補助事業があれば， その事業名及び事業概要を記載してください。 【事業名】 　○○推進事業 【事業概要】・・・簡潔に記載してください 　○○の取組を支援するもの※事業実施主体又は参画事業者が、令和６年度大規模輸出産地モデル形成等支援事業のうち、輸出産地形成事業計画実行等支援に応募した場合は☑をお願いします。　□令和７年度大規模輸出産地モデル形成等支援事業のうち、輸出産地形成事業計画実行等支援に応募した。 |
|  過去３年以内における補助金等の交付決定取消の原因となる行為の有無及び その概要 ※該当する場合には、当該取消を受けた日を記載してください。 |
| □申請者又は申請者の所属団体が，かごしまブランド団体に認定されている□申請者又は申請者の所属団体が，かごしまブランド団体に認定申請中である（申請日：年月日）※かごしまブランド確立運動に取り組んでいる申請者については，上記いずれかにチェックしてください。 |

２　事業概要

|  |
| --- |
|  【本事業で取り扱う品目】 【輸出対象国名】 　品目〇〇：○○国 　※品目別に輸出対象国名を記載してください。 【事業の目的】 　※輸出に当たっての実績や取組の背景となる課題等について記載してくださ　　 い。取り組もうとする事業内容が，実施要領第３の事業内容に資するもの であることを具体的，かつ簡潔に記載してください。 【事業の背景及びこれまでの取組】 　※これまでの取組及び事業実施の背景について記載してください。 　※輸出産地拡大に向けた取組等特筆すべき事項があれば記載してください。 【事業計画概要】 (1) 生産体系の転換 　　　実施地域：品目〇〇　〇〇県〇〇市、〇〇町・・・※　取組の概要を簡潔に記載してください。 (2) 流通体系の転換 　　　実施地域：品目〇〇　〇〇県〇〇市、〇〇町・・・※　取組の概要を簡潔に記載してください。【ＧＦＰコミュニティサイトへの登録】※いずれかをチェックしてください。☐事業実施主体及びその参画事業者が，ＧＦＰコミュニティサイトに登録している☐事業開始までに，事業実施主体及びその参画事業者がＧＦＰコミュニティサイトに登録する予定【フラッグシップ輸出産地】※該当する項目にチェックしてください。事業実施主体及びその参画事業者に，フラッグシップ輸出産地（フラッグシップ輸出産地選定実施要領（令和６年４月19日付け６輸国第 256 号農林水産省輸出・国際局長通知）第５の規定により認定証の交付を受けた産地をいう。）が含まれているか。☐１ フラッグシップ輸出産地である。☐２ フラッグシップ輸出産地ではない |

３　実施方法

|  |
| --- |
| (1) 生産体系の転換 (2) 流通体系の転換 (3) 生産・流通コスト削減に向けた取組 ・削減するコストの内容 ・削減に向けた取組の内容 　※実施期間，方法，手順，スケジュールなど具体的に記載してください。 ※必ず事業実施計画と経費の積算根拠が対応するように記載をお願いいたします。 |

４　実施体制

|  |
| --- |
| 複数の事業者と連携がわかる事業実施体制を図示してください。※どのように輸出に繋がっていくのか明確に分かるよう，海外との連携についても記載してください。 |

５　輸出事業計画の認定

|  |
| --- |
|  □　既に認定を受けている 　　※農林水産物及び食品の輸出の促進に関する法律（令和元年法律第57号） 　　　第37条に基づき，農林水産大臣から輸出事業計画の認定を受けている 　　　場合，チェックしてください。□　輸出事業計画の作成予定※本事業終了までに，輸出事業計画を新規に作成するのか，変更するのかを記載願います。・本事業終了までに新規に（既存の）輸出事業計画を作成（変更）し,認定申請を行う予定 |

６　実施スケジュール

（主な内容が分かるよう事業内容毎，月別スケジュールにて記載してください。）

|  |
| --- |
|  (1) 生産体系の転換 |
|  |  内容 | ○月　○月　○月　○月　○月　○月　○月　○月　○月　○月 |   |
|  |  |
|  |  |
|  (2) 流通体系の転換 |
|  |  内容 | ○月　○月　○月　○月　○月　○月　○月　○月　○月　○月 |   |
|  |  |
|  |  |
|  　※期間は原則として本事業年度の２月までとなります。 |

７　事業の成果目標

|  |
| --- |
|  (1) 成果目標＜必須＞事業実施主体の目標年度は、本事業実施年度の１年後とし、成果目標は目標年度における（１）輸出額：【現状】○円　【目標】○円（２）輸出増加割合：【現状】○％　【目標】○％（３）輸出量：【現状】○ｔ　【目標】○ｔ ＜任意＞（４）輸出向け栽培面積の拡大（耕作放棄地の活用による拡大含む）（５）輸出向け生産を行う農林漁業者の増加（６）国産原料の使用量・増加割合（７）輸出先国の規制・ニーズに適合した新商品の開発、商品の改良等（８）ブランド化、ＧＩ等の知的財産の取得に向けた活動（９）新たな販路の開拓（10）（１）から（９）まで以外の輸出に関する事項 ※事業実施後，1年後における目標とする。併せて、今後の目標も記載すること。 　・現状の実績と将来の目標が明確に比較できるようにするとともに，目標の達成方法，持続性について等具体的な内容をご記載ください。　 ・波及効果について，具体的にご記載ください。・任意の成果目標を設定する場合には，この欄に現状値と目標値等を記載してください。【記載例】輸出向け栽培面積の拡大　　令和○年度：●㌃，令和○年度：●㌃，令和○年度：●㌃，令和○年度：●㌃　　波及効果　　・　系列農家を参集し，○○技術に関する助言や意見交換を実施する。　　・　実証事業について関係機関と協議し，普及の可能性について検討する |

８　所得向上効果の把握・検証

|  |
| --- |
|  以下の①～④から設定する成果目標を設定し，（　）に○をつけてください。 （　）①決算書上の利益 （　）②平均的な規模の経営体の年間平均所得 （　）③役員報酬、従業員給与の推移 （　）④仕入単価、販売単価等の推移 |

９　事業成果・効果の検証方法

|  |
| --- |
|  ※設定した成果目標を受けて、その進捗及び達成度合いを確認及び検証する 　ための方法を具体的にご記載ください。 |